

全農パレチゼーションの取り組み紹介について

当社は、「ホワイト物流」推進運動の自主行動宣言において、「パレット等の活用」を取り組み項目に掲げています。その中でも、農産物の一貫パレチゼーション推進を最優先課題として、全国農業協同組合連合会(以下「全農」とする)とともに取り組んでいます。

1. 経過

- (1) 当社は2010年より米穀一貫パレチゼーションの取組を開始しました。
- (2) 2020年秋より全農主導の「全農パレチゼーション」として更なる拡大を図ることになりました。

2. 全農パレチゼーションの概要

(1) 目的

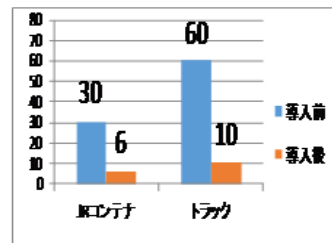
米穀の紙袋輸送においては、出庫時・納品時の手積み・手降ろし作業がドライバーの負担となっていることから、同一パレットによる保管・輸送・納品をおこなうことで手荷役削減、荷役時間削減を図ることにより、米穀の物流合理化、安定供給を諮ることです。

(2) 利用パレット

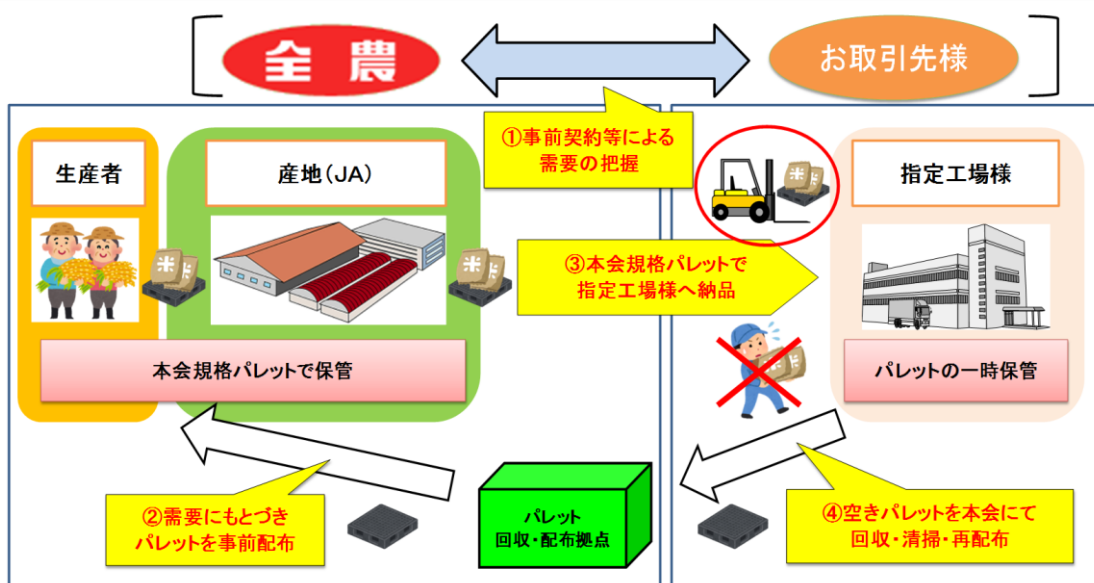
14型プラスチック レンタルパレット

(3) 主な導入メリット

- ア. ドライバーの手荷役解消
- イ. ドライバーの荷役時間短縮
- ウ. パレット管理コストの低減



(4) イメージ図



※全農物流は②～④のパレット運営を担っています

(5) 取組概要 (2020年12月末時点)

ア. 実施産地 23産地

イ. 持込先 100拠点

(6) 取組目標

年産	比率目標 (※)	取扱トン数
令和3年	45%	約50万トン
令和4年	60%	約60万トン
令和5年	70%	約65万トン
令和6年	80%	約70万トン

※全農取扱米穀輸送のうち紙袋輸送における比率

【写真素材】



以上

【本事業に関する問い合わせ先】
営業開発部 営業開発課
TEL 03-3295-3814